

事 務 連 絡
平成 23 年 9 月 7 日

各都道府県衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

不活化ポリオワクチンの導入に関する新聞報道について

予防接種行政につきましては、日頃よりご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、9月7日付けの一部の新聞において、不活化ポリオワクチンが来春から導入されるとの誤認を招く報道がなされました。

不活化ポリオワクチンの導入に向けてのスケジュールは、8月31日に開催された「不活化ポリオワクチンの円滑な導入に関する検討会」の資料（別添1）においてお示ししているとおり、現在、複数の企業により不活化ポリオワクチンの開発が進められており、本年末頃より順次薬事承認申請がなされる予定です。このため、早ければ平成24年度中にも DPT（ジフテリア・百日せき・破傷風）と不活化ポリオワクチンとの4種混合ワクチン（DPT-IPV）が導入されることも想定されますが、平成24年度当初からの実施は予定しておりません。

現在、予防接種法に基づいて、経口生ポリオワクチンの接種が勧奨されているところであり、その実施を継続するとともに、接種に関する住民への周知に当たって遺憾のないよう、管下市町村への周知方お願いいたします。

参考

9月7日付けの報道

<http://sankei.jp.msn.com/life/news/110907/bdy11090707420002-n1.htm>

わが国における不活化ポリオワクチンの開発経緯

【DPT-IPV4種混合ワクチンの開発】

平成14年

国内4社によるジフテリア・百日せき・破傷風・
不活化ポリオの4種混合ワクチン(DPT-IPV)の開
発の検討開始

一般財団法人 化学及血清療法研究所
学校法人 北里研究所(平成23年4月1日より北里第一三共ワクチン
株式会社)
武田薬品工業株式会社
一般財団法人 阪大微生物病研究会

・厚生労働省から早期開発に向けた要請・助言を継続的に実施
・平成22年4月 国内4社に対し、厚生労働大臣政務官から、
一層の開発の促進の努力をお願いする文書を出

平成23年末頃より

順次、薬事承認申請がされる予定

【単独(単抗原)ワクチンの開発】

(財)ポリオ研究所による

平成10年

第1相臨床試験の実施

平成13年

製造承認申請

平成17年

GCP(医薬品の臨床試験の実施の基準)上の
問題等により承認申請の取り下げ

【単独(単抗原)ワクチンの開発】

サノフィパスツール株式会社による

平成23年5月27日 開発を決定

できる限り迅速に薬事審査を実施

早ければ平成24年度中にも4種混合ワクチン(DPT-IPV)の導入

4種混合ワクチン(DPT-IPV)の導入から近い時期を目指した単抗原IPVの導入

OPV: 経口生ポリオワクチン(Oral Poliomyelitis Vaccine)
IPV: 不活化ポリオワクチン(Inactivated Poliomyelitis Vaccine)